

つづく つづかぬ

高橋金起つた ソロバン習りに行こうと

少ねた友人とソロバンの習へ行つた 生徒は

伊つころ多習ひた うしろのうへあずあずと

すわつた 何縁何平印百十円なりと声かどん

で毛石、何平何、最後の十四たやわわつた

その帯大子有物家知まふ 次々と破新紙

あふりすてはとよやあがていす その人が

先をとりう二と伊少あつた その月山さくら

つたす、おそつた それびよほべと何おしま

い 友人はつて何故とつたか 知らぬ

が 銀行に就職した

小樽校の時何となく絵がすきだつた きつ

か 伊は小樽校の近く城のうへに赤い屋根の家

があつた その赤い屋根かともつてきつに見

えつその坂の壁の窓をかいたら気がいゝた

やあて甲名になつたころ近くに洋画研究所

があつた 平アムスの子が木炭と心をと

つて9字全た カラカラ席やビイアの石室

か 取りそれと学生する 石室は、何れかゆま

平面に立体物を描くには、
 左と右の位置関係が
 重要である。この場合、
 人物の姿勢や視線の
 方向が、空間の奥行き
 を表現する手がかりと
 なっている。また、
 影の落ち方によって、
 物体の立体感が強調
 されている。

る ニス 三年に居るが原

嫁さん 何一何お介て おいし いまの生活

と 今と 息子 何本 行の たり、 お金を

おろして くれ たり、 家の 手取りの やすがりし

古 靴の 2 台 あり、 そして 靴を 取って くれり

ひ だすら 感心 多く いく 致成 まで あり

ら きつと つい かなんか もしれ ない

云々 感謝 状